

全校朝会（東京大空襲と東日本大震災）

2019. 3. 11

6年生に、先生や家族によく言われ、気を付けていることを聞きました。

校長室の前に、おすすめの本を書いてもらう紙をおいたところ、何人かの人を書いて箱に入れてくれました。「わたしんち」「おばけトリックアート」「人体のサバイバル」「ふわふわくもパン」などがありました。「長くつ下のピッピ」もありました。小学生の時に好きだった本なので、うれしくなりました。「かばでんしゃ」もありました。「今から70年以上前に、日本で起こった戦争の時代に走っていた電車を主人公にした絵本です。平和の大切さを伝えてくれるお話だと思います。」と書いてくれました。「かば電車」は、EF55・1という機関車なのですが、正面から見たところがかばに似ていたからこう呼ばれ、とても人気があったそうです。毎日たくさんのお客さんや荷物を運んでいたのですが、戦争が始まってからは、毎日兵隊さんと戦争のための道具ばかり運ぶようになります。そして、とうとう、敵の飛行機の機銃掃射に遭い、銃弾を撃ち込まれることになったのです。この「かば電車」の戦争ってしなくちゃいけないのかなというつぶやきが心に残る本です。「かば電車」は、今は、さいたまの鉄道博物館に展示されているそうですが、電車の天井に銃弾を撃ち込まれた痕が残っているそうです。

今日、3月10日は、昭和20年、1945年に東京大空襲があった日です。東京都平和の日に指定されている日でもあります。東京大空襲のときには、敵の飛行機が300機も飛んできて、焼夷弾という爆弾をものすごくたくさん落とすっていったそうです。焼夷弾は、建物などに落ちて爆発すると、火のついたナパーム剤という薬品が飛び散って壁などにへばりつき、消そうと思ってもなかなか消えない爆弾だそうです。日本の家は木でできていたので、あっという間に燃え広がって10万人の人が亡くなったそうです。東京が火の海だったそうです。この東京大空襲で、大きな火傷を負った子、お父さんとお母さんと兄弟を亡くし一人ぼっちになってしまった子、食べるものがなくてお腹がすき過ぎて死んでしまった子、子供がほしいという家にもらわれていったけれど毎日働かされたりいじめられたりしてつらい思いをした子もいたそうです。戦争のことは、忘れてはいけないことだと思います。

忘れてはいけないことはまだあります。今日、3月11日は、東日本大震災が起きた日から8年目の日でもあります。1年生は、この間1月に、JAMSTEC（海洋研究開発機構）の方に「深海の絵本」の読み聞かせをしていただいたと思います。このJAMSTECの地球探査船に乗って見学をしていて地震に遭った青森県八戸市の小学生のことを書いた本がこの間出版されました。「津波の日の絆」という本です。地震が来て、船の中も揺れがひどくて、怖がる子がたくさんいました。津波が来るというので、陸に上がるとかえって危ないので、船の中で一晩過ごすことになります。とても心細かったようですが、みんな歌を歌って過ごしたことで、みんなの心が1つになり、その後も交流が続いているそうです。

音楽はやはりいいですね。今日の日曜日、3月17日は戸三小の吹奏楽団の定期演奏会もあります。今年は、学校の体育館ではなく、下落合図書館の近くの東京富士大学二上講堂で行われます。みなさん、ぜひお家の人と一緒に来てください。